

Stage4

The Race

レース

作・トニー・ブラッドマン

絵・ジョン・スチュアート

<読むまえに>

お子さんが読むまえに、この本についてお子さんと話しましょう。

- ・表紙と裏表紙を見て、この本に書かれていそうなことをお子さんと話しましょう。
- ・このお話にはだれが出てくるでしょう。このお話にでてくるひとたちの話を、まえにも読んだことがありますか。
- ・お話にでてくるひとたちについて、どんなことを知っていますか。2ページを見てください。どんなことをしているでしょう。

<読んでいるときに>

自分のスピードで読めばいいよと、お子さんにいってあげましょう。

お子さんが単語を読むのにつかえたときは、次のようにうながしてあげてもいいでしょう：

- ・ことばを声にだしていってごらん。
- ・その文章のはじめにもどって、もう一度読んでみよう。
- ・絵を見るとわかるよ。

<ひっかかることば>

ここにあるのは、お子さんがこの本を読むときにひっかかりそうなことばです。

there そこに

day-dreamed 空想した

dragonfly トンボ

would ~だろう

what なに

looked 見た

idea 考え

[p. 1]

レース

作・トニー・ブラッドマン

絵・ジョン・スチュアート

[p. 2]

キャットとタイガーはボタンを押しました。

遊びの時間だけど、でも何をしよう。

[p. 3]

タイガーは超小型バギーをもっていました。

[p. 4]

キャットにも、考えがありました。

[p. 5]

タイガーは、キャットが遊んでいるのをながめました。

「カタツムリに乗るの？ 冗談はやめてよ！」

[p. 6]

「このマイクロ・バギーはすごくはやいぞ。きみは、やっとけむりが見えるだけだな！」

[p. 7]

「あの木まで競争だ！」タイガーが言いました。

「位置について、用意、ドン！」

[p. 8]

タイガーは、ロケットみたいに飛びだしました。

[p. 9]

カタツムリに乗ったキャットは、とてもゆっくりでした。

[p. 10]

バギーに乗ったタイガーは、急ぎました。

そのときタイガーは、トンボを見ました。

「あれを見て！」

[p. 11]

キャットは進みつづけました、ゆっくり、着実に。

タイガーはキャットが通り過ぎたのを見のがしました。

「すごい！」

[p. 12]

タイガーは、自分が勝つことを空想しました。うれしそうにわらいながら、そこにすわっていました。

[p. 13]

それからタイガーは、相変わらず勝つのはまちがいないと信じながら、バギーで出発しました。

[p. 14]

「まさか！」

ゆっくりと着実にがコツです。

ゆっくりと着実なものは失敗しません。

[p. 15]

「勝った！」

ゆっくりと着実なものが、バギーを負かしました。

キャットは、カタツムリといっしょに待っていました！

<読んだあとで>

読んだあとで、この本についてお子さんと話しましょう。こんな質問をしてみましょう：

- ・どうしてタイガーは自分が勝つと思ったのかな。
- ・どうして最後はキャットが勝ったんだろう。
- ・この本を読んでどこがおもしろかった？
- ・この本を読んでどう思った？

この話をまた読んでみようとお子さんにすすめてください。読む自信をそだて、つかえずに読めるようになります。

<ほかにすること>

この本のことをくりかえし話題にしましょう。レース用のバギーはどうやって作りますか？

『ウサギとカメ』のお話をお子さんと一緒に読んでもいいですね。